

# 福島第一原子力発電所の状況

平成 24 年 3 月 17 日  
東京電力株式会社

## < 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (3/17 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心スプレ系：約 1.7 m <sup>3</sup> /h	23.7	106.9 kPa abs	A系:0.00 vol% B系:0.01 vol%
		給水系：約 4.7 m <sup>3</sup> /h			
2号機	淡水 注入中	炉心スプレ系：約 6.0 m <sup>3</sup> /h	40.9	19.21 kPa g	A系:0.11 vol% B系:0.13 vol%
		給水系：約 2.6 m <sup>3</sup> /h			
3号機	淡水 注入中	炉心スプレ系：約 4.9 m <sup>3</sup> /h	52.9	0.31 kPa g	A系:0.19 vol% B系:0.21 vol%
		給水系：約 2.0 m <sup>3</sup> /h			

\*絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

※電源停止作業に伴い 3/17 11:00 時点のデータが欠測となっているため、3/17 5:00 時点のデータを記載

【1号機】・3/16 20:52 原子炉格納容器内雰囲気温度について、一部の温度計で指示値の上昇傾向が見られることから、原子炉格納容器への窒素封入量を約 18m<sup>3</sup>/h から約 23m<sup>3</sup>/h へ変更。

【3号機】・3/17 9:53 原子炉への注水量の変動が確認されたため、給水系からの注水量を約 1.8m<sup>3</sup>/h から約 2.0m<sup>3</sup>/h、炉心スプレ系からの注水量を約 5.6m<sup>3</sup>/h から約 5.0m<sup>3</sup>/h に調整。

## < 2. 使用済燃料プールの状況 > (3/17 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中*	27.5
2号機	循環冷却システム	運転中	20.6
3号機	循環冷却システム	運転中	13.8
4号機	循環冷却システム	運転中	26

\*システム二次系エアフィンクーラー：停止中

【2号機】・1/19 11:50～ 使用済燃料プールの塩分濃度を低減させるため、塩分除去装置の運転を開始。

## < 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元 →	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋 →	集中廃棄物処理施設 [ 雑固体廃棄物減容 処理建屋 (高温焼却炉建屋) ]	3/11 8:47～ 移送実施中
3号機	3号機 タービン建屋 →	集中廃棄物処理施設 [ 雑固体廃棄物減容 処理建屋 (高温焼却炉建屋) ]	3/15 8:46～ 移送実施中

## < 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (3/17 7:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)
運転状況	運転中	運転中	停止中	水バランスをみて 断続運転	水バランスをみて 断続運転

・H23/6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

## <5. その他>

- H23/10/7～ 伐採木の自然発火防止や粉塵飛散防止のため、5, 6号機滞留水の浄化水を利用し、散水を適宜実施中。
- H24/2/23～ 6号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
- H24/3/6～ 5号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
- H24/3/14～ 港湾内の海底土拡散防止を目的として、固化土(被覆材)による海底土被覆工事の本格施工に着手。

以上